

# 公式記録 (IF) の手順【記録用紙が唯一の公式記録である】

令和4年4月23日  
山口県小学生バレーボール連盟

## ※試合前

- ①体育館や日時等、未記入や未印刷の欄を記入する。
- ②混成の際は、エントリー用紙の男子の名前が○印で囲まれているか確認。

## ※プロトコール直前

- ①キャプテン、監督にサインをもらう(混成の際は、男子の名前の○印を必ず監督に確認)。
- ②サービスのチーム、コートサイドの確認と記入(スコアラーから見て左がAサイド、右がBサイド)。

## ※プロトコール中

- ①公式練習中にセカンドレフェリーと別々にエントリー選手のナンバーの確認。
- ②その他記入できる所は記入する(混合の際は、男子のナンバーの左横にV点を記入)。

## ※試合開始直前

- ①セカンドレフェリーとコート内の6人を確認(セカンドレフェリーとコミュニケーションを取る)。
- ②セカンドレフェリーにサーバーの番号を言い、ボールを渡す(例;左サーブ2番です)。
- ③準備完了ならセカンドレフェリーに向かって両手をあげる。

## ※試合中

- ①サーバーの確認で片手をあげる以外、人差し指はサーバーの得点記入欄から離さない。
- ②サービス権を失ったチームの点数を記入 → ラリーに勝ち、サービス権を得たチームの得点を斜線「/」で消す → 人差し指移動 → 次のサーバーを確認し「V」チェックを入れる。
- ③タイムアウトや選手交代の時は、要求したチームの点数を、それぞれの記入欄の左側に書く。

## ※タイムアウト

- ①記入(1回目は"タイムアウト"欄の上枠、2回目は下枠に、その時点までに得た両チームの得点)。要求チームの点数が左側。IFの得点と得点板の得点を確認する。
- ②同一チームが1セットで2回目のタイムアウトを取った時、セカンドレフェリーに「タイムアウト2回目です」と報告する。
- ③再開の時はコートに12人いる事を確認して両手をあげる。
- ④セカンドレフェリーにサーバーの番号を言い、ボールを渡す(例;左サーブ2番です)。
- ⑤サーバーを確認し片手をあげる。
- ⑥許容回数を超えた要求の時は、セカンドレフェリーに「タイムアウト3回目です」と報告する(不当な要求)。1回目の不当な要求は注意。2回目拒否+記録用紙の"不当な要求"欄に「×」、3回目以降遅延行為。

## ※選手交代

- ①交代選手の番号が確認できたら片手をあげる(セカンドレフェリーはこれで交代させる事ができる)。不当な要求の時は手をあげずにダメダメと振る。
- ②記入("競技者番号"欄には交代選手の番号、"交代時得点"欄にはその時点までに得た両チームの得点を書く)。要求チームが左側。
- ③記入できたらセカンドレフェリーに両手をあげる(サーバーの確認はもう一度片手をあげる)。IFの得点と得点板の得点を確認する。
- ④交代選手がコートに入ってベンチに戻った場合は、下の番号に「○」印をつけ、その時点までに得た両チームの得点を下枠に記入する。
- ⑤許容回数を超えた要求の時は、セカンドレフェリーに「メンバーチェンジ3回目です」と報告する。1回目の不当な要求は注意。2回目拒否+記録用紙の"不当な要求"欄に「×」、3回目以降遅延行為。

## ※2組以上の選手交代

- ①1人ずつ交代する。1人目の選手交代の手順が完了したら両手をあげる。
- ②2人目の交代選手の番号が確認できたら片手をあげる。2人目の選手交代の手順が完了したら両手をあげる。
- ③3人目以降は②を繰り返す。

## ※選手交代11回目と12回目

- ①選手交代の11回目と12回目はセカンドレフェリーに「メンバーチェンジ11回目(12回目です」と報告する。

## ※ロングサーブ

- ①サーバーが違う場合は、片手をあげずに、正しいサーバーの番号をセカンドレフェリーに報告する。間違いかどうか不安な時も、セカンドレフェリーに報告する。審判団でロングサーブを予防する。ラリーの途中やボールデッドになった後でわかった時には、わかった瞬間にセカンドレフェリーに大声で叫ぶ。
- ②ロングサーブがわかった時は、相手チームに1点と次のサービスが与えられる。
- ③選手のサーブ順は正しく直される。
- ④チームがロングサーブをしている間に得た全ての得点は取り消される。相手チームの得点はそのまま有効となる。
- ⑤間違っていた点数部分は縦線「|」で消す。その後得た点数を逆斜線「\」で消し、「×」印で得点を示す。
- ⑥セカンドレフェリーに誤ったチームの正しいサーバーと次のサーバー、相手チームの次のサーバーを説明する(セカンドレフェリーはゲームキャプテンに説明する)。
- ⑦記録を訂正した事がわかるように、"特記事項"欄に「第何セットAチーム:Bチーム ? : ? のとき、A or Bの得点を取消した」と記入する。

## ※罰則の記録

- ①公式記録記入法III.試合中3.7罰則の記入の項を参照。

## ※セット、ゲームの終了

- ①最終得点の吹笛直後、記入前にセット(ゲーム)の終了のハンドシグナルを出し、セカンドレフェリーに報告する。続いてセカンドレフェリーがファーストレフェリーに報告する。

## ※試合後

- ①試合後の記入は公式記録記入法IV.試合後の項を参照。
- ②両チームのキャプテンのサインをもらった後は、ファーストレフェリー・セカンドレフェリーとともに本部席にある記録集計席へ移動して集計をする。
- ③ファーストレフェリーのサインをもらったら、IF用紙をファーストレフェリー・セカンドレフェリーに渡し、本部に提出してもらう(小学生が記録の場合)。

## ※その他

- ①ファーストレフェリー・セカンドレフェリーとアイコンタクトを良く取る。
- ②ラリー中は顔をあげ、ファーストレフェリーのハンドシグナルに従って記録する。
- ③サーブ順や得点等で不安な時、困った時はセカンドレフェリーに報告する。正しい事を確認してから再開する。
- ④記載ミスをした場合は、二重線「=」で消す。